第1号議案書－1

2023年度事業報告書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

1　公益目的事業について(演劇の振興事業)

1.「北海道の演劇の向上事業」演劇の製作公演等による人材育成に関する事業
定款第4条第1号に掲げる事業は、次の計画により行った。

(1)演劇の企画、製作および公演による人材育成事業

札幌からの演劇創造と発信を目指して公演を行い、制作公演活動を活用して新たな演劇文化の担い手を育成する研修事業を行った。

2023度は、札幌座という財団付属の創造集団をもとに、新作3作品、再演2作品を上演し、研修生を積極的に募集し、演劇制作を通じた人材育成に取り組んだ。

①【再演】札幌座 Pit「葉桜」

作　:岸田國士
演　出:斎藤歩(札幌座)
出　演:磯貝圭子(札幌座)、熊木志保(札幌座)
公演日:4月7日～9日(4回)
会　場:シアターZOO(札幌)　　入場者数:181名

②【新作】札幌座第60回公演「ブリテン罰符の錬金術」

作　:マイケル・クーニー
演　出:納谷真大(ELEVEN NINES)
出　演:磯貝圭子(札幌座)、泉陽二(札幌座)、熊木志保(札幌座)、明隼人(ELEVEN NINES)、
蓑輪直人(フリー)、山野久治ほか
公演日:7月6日～12日(10回)
会　場:シアターZOO(札幌)　　入場者数:830名

③【再演】札幌座「烈々凪　玉葱畝る　夏至白夜　沁みる挽歌に　咽ぶ匂ひよ」 ※札幌演劇シーズン2023－夏参加作

作・演出:斎藤歩(札幌座)
出　演:斎藤歩(札幌座)、西田薫(札幌座)、磯貝圭子(札幌座)、泉陽二(札幌座)、熊木志保(札幌座)、
常本亜実(札幌座)、納谷真大(イレブンナイン)、梅原たくと(イレブンナイン)
公演日:8月5日～12日(10回)
会　場:シアターZOO(札幌)　　入場者数:508名

④ 【新作】札幌座第 61 回公演「群来、春告魚(はるつげうお)と蜃気楼」
作・演出：清水友陽（劇団清水企画）
出　演：斎藤歩（札幌座）、磯貝圭子（札幌座）、泉陽二（札幌座）、熊木志保（札幌座）、
大森弥子（Takako Classical Ballet）
公演日：10 月 26 日～31 日（8 回）
会　場：シアターZOO（札幌）　　　入場者数：500 名

⑤ 【新作】札幌座 Pit「カフカ経由　シスカ行き　Bound for Sisca via Kafka」
作・演出：斎藤歩（札幌座）
人形製作：沢則行（フリー）
出　演：斎藤歩（札幌座）、沢則行（フリー）、田川陽香（ひとみ座）、縣梨恵（トランク機械シアター）
公演日：12 月 1 日～6 日（8 回）
会　場：シアターZOO（札幌）　　　入場者数：708 名

⑥ 札幌座研修事業
新たな人材育成を目的とした研修生システム（公演活動を通して実践的に演劇を学ぶ）による俳優養成を行った（通年）。
講師：斎藤歩（札幌座）、磯貝圭子（札幌座）、清水友陽（劇団清水企画）、納谷真大（イレブンナイン）ほか

（2）演劇による教育普及などの人材育成事業

将来の演劇文化の担い手の育成と演劇の普及啓発のため、初心者から演劇部や演劇活動者、幅広い年齢層と地域、企業の社員教育の現場などに、実績あるワークショップ指導者を派遣し、演劇ワークショップや、コミュニケーションワークショップを行った。

［実施校ならびに実施団体］
札幌市立厚別高等学校、立命館慶祥中学校、北星学園女子中学高等学校、紋別社会福祉協議会など

［講師］
清水友陽（劇団清水企画）、磯貝圭子（札幌座）、西田薫（札幌座）、泉陽二（札幌座）、熊木志保（札幌座）、常本亜実（札幌座）、納谷真大（イレブンナイン）、前田透（劇団木製ボイジャー14 号）、戸澤亮（フリー）ほか

2.「北海道の演劇の向上事業」演劇等の創造活動の促進支援に関する事業

定款第4条第2号に掲げる事業は、次の計画により行った。

(1)扇谷記念スタジオ・シアターZOOの運営、管理

創造力を喚起する魅力的な創造空間を提供し、演劇をはじめ広範な芸術文化活動を振興し、優れた創造活動を地域に興すことを目的として、スタジオ、および劇場を運営、管理した。具体的運営は、運営責任者が運営者の助けを得て行った。

運営責任者:清水友陽(劇団清水企画／北海道演劇財団芸術監督)

運　営　者:斎藤歩(北海道演劇財団理事長)、木村典子(北海道演劇財団プロデューサー)、
磯貝圭子(札幌座)、納谷真大(イレブンナイン)

扇谷記念スタジオ・シアターZOO を、①道外の第一級の専門家と協働した上質でオーソドックスな作品創造と上演、②親子で観劇できる良質な作品創造、③道外・海外の優れた団体との交流、④自立した演劇人の育成、⑤若い世代を専門家のいる劇場に招く取り組み、⑥学校現場や地域の集まりに芸術家を派遣、これらの柱に沿った長期的な展望に立った以下の事業を行った。

① シアターZOO 企画公演

文化庁の補助金の不採択により、予定していた以下の事業をすべて取りやめざるを得なかった。

5月	劇のたまご「オズの魔法使い」(札幌)
6月	若葉町ウォーフ「森の直前の夜」(横浜)
9月	イトウワカナ×前田透「流浪と轍のポルカ」(大阪・札幌)
12月	朗読「星の王子さま」(東京)
1月	札幌座「月が水面に忍び来るがごとく」(仮題)(札幌・韓国)

札幌座が指導する石狩の児童劇団「碧い海」の「碧きヒーローたち」を特別企画公演として3月に実施した。

② シアターZOO 提携公演

札幌を代表する中堅劇団や若手劇団、プロデュース団体、そして道外で精力的に活動する劇団およびアーティストと提携し、演劇文化の向上を目指す事業を実施した。

4月	イチニノ「おしまいのつづきのつづき」(茨城)
5月	SPR 実行委員会「INDEPENDENT:SPR23」(大阪)
9月	ラボチプロデュース「4 A.M」(札幌)
10月	ポケット企画「見ててよ」(札幌)
11月	風蝕異人街「毛皮を着たヴィーナス」(札幌)
	劇団こふく劇場「ロマンス」(宮崎)
12月	万博設計「YO RU TO RO TO RO」(大阪)
	劇団東京乾電池「小さな家と5人の紳士」(東京)
2月	fireworks「≒生活」(札幌)

③ シアターZOOを使ったワークショップによる人材育成

「シアターZOOを5日間で黒く塗りながらお芝居を考える会」

劇場の塗装や補修を行いつつ、稽古から発表までを5日間で行い、参加者は役者、またはテクニカルとして、小劇場での創作を実践・体験した。(講師:清水友陽・米沢春香)

[時期] 5月24日～28日　　[参加者数] 20名×5日間

④ 札幌劇場祭(TGR)参加公演

[参加団体] 演劇家族スイートホーム、オパンポン創造社、風蝕異人街、劇団こふく劇場

[時期] 11月1日～12月3日

(2) 民間劇場「北八劇場」への協力

2024年5月、新たに札幌市内に開館した民間劇場(北八劇場)と協力体制を図り、オープンに向けた支援を行った。

3. 地域における演劇に触れる機会の提供に関する事業

定款第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行なった。

(1) 地域文化活動の担い手の育成

各地の公共ホール運営団体や文化団体の企画担当者に、文化事業実施に関する情報やノウハウの提供を行い、地域における有益な文化活動を推進する担い手の育成を目指した。

(2) 各地域の自治体および団体による公演活動

地域の人のつながりや個性ある地域社会をつくるために有効な文化事業を提案し、またその実施に際しスタッフの派遣、助言、協力、事業の運営および管理を担い、以下の3作品を6カ所で公演した。

① 劇のたまご「ツいてるんでない？～幸運と知恵」清田公演 (清田演劇のつどい実行委員会との共催)

作・演出:清水友陽(劇団清水企画)

出　演:磯貝圭子(札幌座)、泉陽二(札幌座)、熊木志保(札幌座)、常本亜実(札幌座)、菊地颯平(ELEVEN NINES)

公演日:2024年1月21日

会　場:清田区民センター　　入場者数:296名

② 札幌座Pit「葉桜」栗山公演(栗山カルチャープラザ運営実行委員会の主催)

作　:岸田國士　　演　出:斎藤歩(札幌座)

出　演:磯貝圭子(札幌座)、熊木志保(札幌座)

公演日:8月27日(1回)

会　場:くりやまカルチャープラザ「Eki」(栗山)　　入場者数:134名

③ ELEVEN NINES「ひかりごけ」（協力）
作・演出：納谷真大（ELEVEN NINES）
出　演：納谷真大（ELEVEN NINES）、菊地颯平（ELEVEN NINES）、斎藤歩（札幌座）、泉陽二（札幌座）
公演地：4か所（富良野・中標津・江別・北見）
時　期：9月2日～11月8日　　　　入場者数：1,887名

4. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第4条第4号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1)市民活動との協力

市民による文化的まちづくりの充実を図るため「特定非営利活動法人札幌座くらぶ」と提携して長年継続していた「シアターZO サロン」が新型コロナウィルス感染症の蔓延によりしばらく開催できずにいたが、4月の「お花見会」と、10月の札幌座公演「群来、春告魚と蜃気楼」に関連したレクチャー、2回開催することができた。

また、ボランティア組織（「清田演劇のつどい実行委員会」「江別演劇プロジェクトWinds」）などと協力して札幌市内および近郊で演劇の普及活動を行うほか、演劇創造都市札幌プロジェクト、らてるね賞実行委員会、札幌劇場連絡会、札幌演劇シーズン実行委員会など、北海道における演劇を取り巻く環境の改善を目指し活動する市民組織の活動を支援した。

当年度は、札幌演劇シーズン実行委員会が文化庁の補助を受けて実施した「JAPAN LIVE YELL project in HOKKAIDO 2023」で、事務局の業務を受託し、会計処理など事業全般の運営・管理を行ったほか、企画の部分でも、その事業の多くを検討・立案し、講師の手配、上演作品の検討、連携先地域の選定などでアドヴァイスを行い、運営に協力した。

(2)広報紙の発行

内容を充実させ、より広報活動に使用できるものとする。
[発行回数] 年2回（4月、10月）
[発行枚数] 各500部

2 収益事業について

1. 演劇等の創造活動の促進支援に関する事業

定款第 4 条第 2 号に掲げる事業は、次の計画により行う。

(1)劇場とスタジオ 1・スタジオ 2 の貸与

地域の劇団や文化団体などに活動の場を提供するため、所有する扇谷記念スタジオのシアターZOO とスタジオ 1 とスタジオ 2 を主に道内の劇団や文化団体に貸与した。

2. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第 4 条第 4 号に掲げる事業は、次の計画により行った。

(1)会計入力等経理全般事務の受託

同じ目的を持つ芸術文化団体には財政基盤の弱いところが多い。このため芸術文化活動を継続し、展開するために必要な会計処理等経理事務の人員配置が困難な団体から、会計入力等経理全般事務を受託した。

[受託団体] 特定非営利活動法人札幌座くらぶ、株式会社 tatt